



2014-15年度 国際ロータリー第2790地区

ロータリー親睦活動月間

# ガバナー月信

VOL. **12** 2015年6月号

COPY FOR MEMBERS  
発行/2015年6月1日



地区大会記念野球大会 (2015.4.23 QVCマリンフィールド)

2015年4月25日午前11時56分ネパールの首都カトマンズで起きた大地震は8,000人を越える死者を出し170万人の人々が被災されております。一刻も早い支援と思い、5月25日に埼玉2770地区、濱野ガバナーと共にネパール大使館を訪れ大使に直接、「緊急支援金」をお渡しして参りました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災されました皆様へお見舞い申し上げます。

月信も最終号となりました。クラブ会長の皆様と共に歩んだ道でしたが、やっとゴールが見えてきました。皆様にはたくさんの御協力を賜り厚く御礼申し上げます。本来ガバナーは月信を通じ会長幹事の皆様に、RIが定めた特別月間テーマにもとづく話や連絡を掲載し、同時に地区内委員会報告やクラブ別会員状況などをお知らせするもので、表紙の上部にGovernor's Monthly LetterのあとTo Club President・・・とあるのは即ち会長幹事宛の書簡であるからです。発行NoのあとCopy For Membersと表記されており、その昔は会員にコピーが配布された事が伺えます。今年度の月信は、私の活動内容をお知らせした方が良くと考え、月信委員会の皆さんにお願いし紙面を作ってきました。皆さんからお知らせ頂いた温かいメールや電話、時には叱咤激励など私にとって良き思い出として宝物になりました。地区研修協議会を終えた今現在は6月4日出発のブラジルサンパウロ国際大会参加に向け、また帰国後翌日に開催するフェアウェルパーティの準備に追われる日々で

す。パーティの主旨はネパールの大震災により災害支援に急遽変更させて頂きました。東日本大震災を体験し、支援しておられる、気仙沼出身の熊谷育美さんのミニコンサートを計画しています。大ヒット曲の“雲の遙か”は私達2014-15年度チームからの最終メッセージであり、私達が忘れかけているものを思い出してくれます。胸を打つ優しい歌声は心の癒しとなるでしょう。皆様の御参加をお待ち申し上げます。

人はいつ災難に遭うかわかりません。“有り難う”と書き、「ありがとう」と言います。おかしな話ですが、転んだ時、必ず誰かが助けてくれます。失敗し、自分ではどう対処すべきか考えているうちに日が暮れてしまう…まさに途方に暮れた時、そっと手を貸してくれるのがロータリアンです。だから「ありがとう」って声に出し起き上がれます。上手く行った時に「有り難う」と感謝することは誰でも出来ます。上手く行かなかった時こそ、恨みがましい言葉をこらえ「有り難う」とつぶやいてみよう。ピンチの裏には必ずチャンスがあります。出来損ないガバナーとして多くの方々に色々な場面で助けて頂きました。

皆様本当にありがとうございました。櫻木エレクトにバトンをお渡しします。

国際ロータリー第2790地区  
2014-15年度ガバナー

宇佐見 透  
(千葉幕張RC)



## 1年を振り返って

第1分区ガバナー補佐  
浦安RC 齋藤 博昭

2年半前の9月、突然、ガバナー補佐の推薦を受け、図らずも第一分区のガバナー補佐拝命を受けることになりました。あらためて気を引き締め、今一度ロータリーに関する勉強を始め、ロータリアン必携の手続要覧を常に携帯し、錆びた脳を活性化すべくスタート致しました。

第1回ガバナー補佐（予定者）会議が一昨年9月27日に開催され、不安と緊張が入り交じる中参加したことが遠い昔の様に感じられます。

宇佐見ガバナーは、地区84クラブをガバナー一人で把握することは不可能であり、ガバナー補佐の任務は各分区のクラブを把握し、ガバナーにそれを報告する事であると言われ、即ち、ガバナー補佐はそれぞれの分区のガバナーであるとまで言われました。

第一分区各クラブを何度か訪問し、状況を実感することができ、二か月毎に開催の会長・幹事に於いては活発な意見が出され、ロータリー活動が前進しているという思いを感じる事が出来ました。

9月より分区の公式訪問が始まり、和やかな雰囲気の中で進み、11月17日に終了。9月27日に分区ゴルフコンペを開催し、多数の会員のご参加を頂き、親睦を深めることに役立ちました。IM（インターシティー・ミーティング）は、11月29日に開催、関口直前ガバナーをお迎えし、地区84クラブ公式訪問時のエピソードやクラブ運営形態について話して頂き、又、RIの組織の仕組みを判りやすくお話し下さいました。職業奉仕に関しては、総論として「個人で自らの職業の中で奉仕の理念を追求し、且つ仕事を通じて自己研鑽に励むことに尽きる」と説いて頂き大変勉強になりました。

講演者は元巨人軍の末次利光氏にお願いし、現役時代のエピソードを色々聞かせて頂き、懇親会を含め、区内6クラブの会員同士が、ロータリー談義に花を咲かせていたようです。

振り返れば、この2年間勉強する場を頂き、多くのロータリアンと出会い、充実した日々を送ることが出来ました事が喜びとなりました。

宇佐見ガバナー、ガバナー補佐の皆様、第一分区会長幹事はじめ全会員の皆様のご協力に深い感謝を申し上げ、御礼申し上げます。



## 1年を振り返って

第2分区ガバナー補佐  
鎌ヶ谷RC 渡邊 幸一

2年前の8月のこと、第2分区ガバナー補佐を鎌ヶ谷RCから選出することになりました。この大役を何の見識も無い私が推薦を受ける事になり、不安と希望の重圧に押しつぶされるような心境のなか決意いたしました。振り返って思うことは、一回目のガバナー補佐予定者会議、不安と希望が交錯する複雑な心境の中出席致しました。緊張のあまり定刻より2時間も早く到着してしまいました。まもなく会議が開催され自己紹介に続きガバナーの挨拶がありました。宇佐見透ガバナーの人間味豊かなご挨拶を聞いて緊張感から解放され非力とは承知しつつも希望に変わりました。初めての会議に緊張感を持って臨んだ事が今思うと懐かしく思い出されます。そして10月の第2回目の会議で地区テーマを「ロータリーの復活と原点回帰」が発表されました。そして、地区の方針としてDLPの構築と、各クラブにCLPの導入が推奨されました。それを受けて第2分区の会長幹事会を3月に招集し協力をお願いしました。5月に入り第2回目の会長、幹事会を招集し、年度行事のガバナー補佐クラブ訪問、ガバナー公式訪問、IM、地区大会についてのご協力を要請しました。7月の就任早々一回目のクラブ訪問を行い、ガバナーの公式訪問を第2分区は3クラブずつの合同公式訪問をお願いし実施しました。そして、11月には分区として最重要な「IM」を森島庸吉PGにリーダーを依頼し「原点回帰」をテーマとした基調講演をお願いし盛大に行うことが出来ました。そして下期に入り地区大会が区内全員参加のご協力を頂き盛大に開催することが出来大変有難く厚く御礼を申し上げます。そして一年間、宇佐見透ガバナーの指導のもと自身貴重な体験をさせて頂きました。この体験を生かし今後クラブの発展、活性化に役立てて行く所存でございます。最後に浅学菲才の私を支え、励ましてくれた第2分区の会長、幹事様、全会員の皆様方、補佐幹事の皆様、そして、各クラブの事務局の皆様方に心から厚く御礼を申し上げ挨拶といたします。



## 1年を振り返って

第3分区Aガバナー補佐  
新千葉RC 森島 弘道

この1年間、第3分区Aをはじめ多くのロータリーの皆さまのご協力をいただきましたことを心より御礼申し上げます。また、宇佐見ガバナー、始平堂幹事長、さらに、多くの皆さまのご指導の下、ガバナー補佐という重責を務めさせていただいたことに改めて感謝申し上げます。

第3分区Aは、宇佐見透ガバナーによるクラブの公式訪問が7月からスタートいたしました。補佐として十分な役割が果たせなかったことが多々ありましたが、訪問時には皆さまに温かく迎えていただきました。また、10月に開催しましたインターシティミーティングは、第三分区A BのAG、会長、幹事で会議を重ね、結果、第三分区A Bの合同で実施いたしました。基調講演では、田中作次元RI会長から「世界のロータリー」と題したお話をいただきました。田中元RI会長からは、ご自身の生き方やロータリーについての貴重なお話を数多く伺い、懇親会では田中元RI会長を囲んで親睦を深めることができ有意義な会合となりました。ご多用の中、講師を快くお引き受け頂きました田中作次様に心より感謝申し上げます。さらに、11月に開催しました分区のゴルフ大会では、多くの皆さまにご参加いただき、親睦の和がさらに広がりました。重ねて御礼申し上げます。

ガバナー補佐を務めさせていただき一番嬉しかったことは、クラブ訪問や事業を通して、多くのロータリアンの皆さまとお会いすることができたことだと思います。どのクラブも個性豊かであり、かつ、素晴らしい奉仕活動を実践しているクラブを知ることができ、ロータリーについて学ぶ機会をいただきました。

ホストクラブである新千葉ロータリークラブのメンバーに支えられ、ロータリアンの皆さまの温かいご支援・ご協力の下、並木鷹男前ガバナー補佐から引き継いだ大役を山本康昭次期ガバナー補佐にお渡しできることに感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



## 1年を振り返って

第3分区Bガバナー補佐  
千葉港RC 林 正弘

ガバナー補佐の任期が終ろうとしている今、自分はこの一年間何をやってきたのかを考えると反省の一言に尽きます。2790地区がDLPを採り入れてガバナー補佐の活動の強化を図っている中で、私は漫然と指示待ちで、自らの思考で積極的に動くということは無かったと思うからです。

今年度はRI規定審議会が行われた直後の年度ということもあって、クラブ定款やクラブ細則の改正が求められたが、改訂内容の情報が遅かった事もある。自分自身が十分に理解しないまま各クラブに説明し、改正が行われたために不完全なものとなり各クラブに迷惑をかけてしまいました。

ガバナー公式訪問は、宇佐見ガバナーの出来るだけ早く各クラブを訪問したいとの要望を受けて、第3分区Bに割当られた日程の最も早い日である8月21日、22日、26日を2クラブ毎の合同例会で行うことにした事は良かったのだが、事前訪問で同日例会が2組ある事を把握しなかったために、3週間前の訪問が2クラブで不可能となり該当クラブには大変迷惑をおかけしました。

宇佐見ガバナーには、定款・細則について懇切丁寧な説明をして頂き感謝しております。

IMは今年度も第3分区A・B合同で実施をしましたが、宇佐見ガバナーの「親睦を第一に」を主目的に225名の会員の出席のもと、「世界のロータリー」をテーマに田中作次元RI会長の講演と大懇親会で大いに盛り上がったIMとなりました。ホストクラブの新千葉・千葉港の皆様には大変お世話になり感謝いたします。

私はこの1年間、ガバナー補佐としてロータリー活動を行う中で感じた事は、世界のロータリーの変化には著しいものがあり、地区の組織は10年遅れで追い掛けている状況であるのに、自分はそれに乗り切れずに悪戦苦闘した1年間であったと総括する次第です。



## 1年を振り返って

第4分区ガバナー補佐  
上総RC 野村 進一

昨年の7月から新しい宇佐見年度が始まり、終わってみればあっという間の一年でした。私もガバナーの方針に従っていろいろな行事に参加させて頂き、職業奉仕を通じて会員の皆様とのふれ合いと沢山の良い思い出を作ることが出来ました。

分区内の主な活動を振り返ってみますと、まず**会員増強**については、2名の目標に対して5名の大幅な増強を達成したクラブ（**君津RC**）がありました。**ロータリーデー**については10月18日、「袖ヶ浦まち開きイベント」でロータリーのパンフレットを配布、ポリオ撲滅への説明（**袖ヶ浦RC**）があり、翌19日、アクアラインマラソン（登録12,969名）では参加者にブルーベリーを配布するなど（**木更津RC**）、メディアも取り上げロータリーの広報に大いに役立ったと思います。また様子は地区大会でもビデオ放映されました。（**袖ヶ浦RC**）

**国際奉仕活動**については、地区補助金によるモンゴル、ウランバートルで「親子で学ぶ疾病予防プロジェクト」を実施しました。（**上総、君津、富津シティRC共同**）

**IM**については、初めての試みとして外部から地域に於いて社会貢献活動を積極的に展開している皆様からの取組やその広報活動についてご意見を頂き、併せてパネルディスカッションで明日のロータリーにつなげる会議を行いました。特にプレゼンでは青少年等による地域活動への取り組みは素晴らしいものがありました。そして基調講演ではパストガバナーの土屋亮平様から、「商売繁盛はロータリーの基本」を教えられ、会場の皆様と共に学び語り合える時間を持ち得たことは大変な慶びであります。この様子は翌日の千葉テレビ放送のニュース番組でも放映されました。

最後に2月18日に船橋南RC35周年記念式典に出席して、宇宙飛行士の山崎直子さんの記念講演で感動を受けましたのでお知らせします。機会があれば是非青少年にも聞いて欲しいと願っています。山崎さんは最後に大好きな言葉「Wonder (未知) ful (いっぱい) =すばらしい」で講演を締めくりました。

この1年間、皆様のおかげで何とか職務を終わることが出来ました。分区幹事を始め関係されました多くのロータリアンの皆様に感謝申し上げますと共にロータリーの更なる発展をお祈りいたします。有り難うございました。



## 1年を振り返って

第5分区ガバナー補佐  
館山RC 望月 眞

2014-15年度 宇佐見透ガバナーの下でガバナー補佐を仰せつかり、1年が過ぎようとしています。プレッシャーに押しつぶされそうな思いからのスタートでした。

2013年9月の次期ガバナー補佐会議からガバナー補佐会議へと、各種セミナーへの参加そして分区内の会長・幹事会や各クラブ訪問と分区内外の行事への参加などかつてない出会いと体験そして多くの事を学ばせて戴きました。

宇佐見ガバナーは、地区テーマの「原点回帰」を合言葉に、変革を恐れずに活動し、そしてRIテーマの「ロータリーに輝きを！」と共に。

分区内最大のイベント「IM」については、次代を担う青少年にターゲットを絞り「ロータリーの青少年奉仕活動」と題して当地区アドバイザーの白鳥政孝PGに講演頂き、別の角度から地元で養護施設を運営される社会福祉法人理事長の西網覚雄氏から子ども達の姿や置かれている現状そして地域社会と行政の施策の問題点や課題などについて講演頂きました。

また、RI会長のロータリーを知って頂く「ロータリーデー」を館山RCの提案による「文化をテーマとした公開例会」を分区合同で開催しました。

RC活動紹介等の公開例会・地元の画家による舞台幕の披露・会員子女を含む芸大出身の音楽家と地元少年少女合唱団のコンサートと3部構成で実施し、市長・教育長・自衛隊司令・一般市民など約500名の動員を得て盛会に開催されました。それらは千葉日報新聞・房日新聞・地元生活情報誌CLIPなどに掲載されロータリーの輝く一日となりました。

数々の行事を実施する度に、ロータリーの理念である「他への思いやり」「助け合いの心」「他人のお役にたつ行いをしようとする心」とポール・ハリスの信条「寛容・慈愛・忍耐」を実践される第5分区内各クラブの会長・幹事をはじめ会員の皆様のご支援・ご協力によって大役を務めることができました事を、心より感謝申し上げます。





## 1年を振り返って

第6分区ガバナー補佐  
大多喜RC 諏訪 武士

G補佐として、もっとも感じたのは、会員として過ごしていた頃に比べ、地区やRIの情報が多く得られることでした。私は地区役員の経験もなく、地区運営にも興味が無かったので、仕事とプライベートを削る1年でした。

さて、宇佐見年度テーマ「原点回帰」ですが、ロータリー哲学において温故知新的な思考を求めたもので、それが必要であることは言うまでもないのですが、精神は原点を、器は時代に沿ったものという意味では片手落感が否めないと思います。私が思うに現在のロータリアンには「ロータリーが趣味」「ロータリーが生甲斐」という方々が多く、これは悪習に類し次世代への継続を阻害するものです。ロータリアンは事業を指揮し、家族を尊ぶ人でなければなりません。ところが休日、家にいる場所がない人の集まりのようにロータリー行事に勤しんでいます。2750地区など他地区では時代に沿った体質変換が進み始め、行事を平日に移行しつつあります。社会は外から内へと変革してきておりRIや地区が、会員家族と過ごすべきプライベートな時間まで活動と称して奪い取っています。これで家族の理解など得られるはずはありません。分区内でもこうした体制に改善を求める声も多いのです。かつて先輩が「海外では20代の幹事や会長は珍しくはない」と言っていました。日本ではJCなど40歳卒業後にロータリーへ入会という事例も多く、大きなハンデとなっています。参加し易さではライオンズに劣り、哲学啓蒙では倫理法人会に敵わず、人脈構築や現世利益では同友会やBNIに先行されておるのがロータリーです。

私は、分区のIMで、外に目を向けるべき小さな社会のロータリーは、一般社会を理解すべきと挨拶をさせて頂きました。今のロータリーはロータリーというオタク集団に近いのです。

G補佐を務め、多くのことを知りました。同時に多くの会員が地区委員となり、情報を知るべきだとも思います。そのためにも会員になんら無理を強いることのない体質、体制を構築することが最大の課題です。

最後に分区内から切実な御意見を頂くも任期中、地区運営に反映出来なかった事をお詫び申し上げると共に、地区が時代に取り残されない為にも会員の皆様より、多くの叱咤激励が頂ける様お願い申し上げます。



## 1年を振り返って

第7分区ガバナー補佐  
銚子RC 杉山 俊明

一昨年ガバナー補佐予定者とし推薦を頂き、同年10月より予定者会議に参加してから、早一年と七か月、分区事業としては5月に親睦ゴルフコンペを残すのみとなりました。云うまでもなく、ガバナー補佐の役目はガバナーの意図する処を如何に分区の各クラブに伝えるかが職務であり、その役目が無事努められたかどうかは自己判断しにくい処ありますが、ご協力、ご理解頂いた各クラブの皆様には深く感謝申し上げます。

本年度、宇佐見ガバナーは地区運営に当たりGLPの構築を目指した組織構成をされました。当地区ではなぜかCLPが先に認識されたことで、分区内に於いても当初GLPとCLPの関連性で多少の混乱と戸惑いはあったものの、公式訪問等での協議を経て着実に理解と関心を進められたように思われます。公式訪問については、ガバナーよりクラブ協議会の在り方を問われたことで、従来とは違う方法で協議を進められた点。同じく、標準定款、細則と各クラブの定款、細則の祖語については各クラブ共に大いに参考になった様でした。

又、本年度は地区大会の日程が大きく変更になりました。何事も初めて行う事には戸惑いと不安が生じますが、多少のハプニングはあったもののすっきりとした良い大会であったと感じました。しかしながら、地区大会の日程変更に伴いIMの日程も例年と変わらざるを得ず日程調整等で多少苦勞させられる事になりました。IMについて当分区はロータリー運動の柱の一つである「親睦」をテーマに、親睦の基盤は家庭からとし、配偶者同伴の企画で102名の参加を得て開催することが出来ました。ともあれ、職務を通して感じた事は、各クラブ共に世代交代が進んでいるが、全体的にロータリーに関しての情報不足、知識不足の感は否めず今後のクラブ運営上で大きな課題になると思われます。

最後に、任期中ご指導頂いた宇佐見ガバナー始め崎山研修リーダー、中村研修委員には厚く御礼申し上げます。



## 振り返るな！ 一步でも前へ進もう！

第8分区ガバナー補佐  
佐原RC 川原 勝壽

ロータリーに正解はない。

10人いれば10人の、100人いれば100人のロータリー観がある。それを、どちらが正しいのかと議論しても、詮無いことである。

問答するならば、「昨日の自分」と「今日の自分」とですがよい。堂々巡りをするならば、己が成長していない兆しにとらえたい。

他人の意見に、謙虚に耳を傾け、自分のこころの肥やしにするくらいの度量が欲しい。

今ほど、自分磨きを疎んじる世相はないように思う。

ほんの少し前まで、人や社会に希望があったように、ロータリアンには、人格陶冶に意を配るロータリアンとしての矜持が、それぞれにあったような気がする。かつて、賢人は、この矜持を『ノーブレスオブリージュ』と表現された。

これは、「高い地位にある者は、高い徳を備え、重い責務を果たす必要がある」という考え方をいい、「選ばれし者の責務」ともいわれる。

この1年、一人ひとりがロータリー観を磨き上げて欲しいという希望を抱いて、毎月第1例会のクラブ訪問を、心がけてきた。手ぶらでの訪問では、各クラブの会長さんに申し訳が立たない。そこで、毎月、その月の「分区だより」と、「原点回帰のためのロータリー情報」も携えての訪問である。

第8分区の各クラブに元気を取り戻して欲しい、その一念での愚挙であった。

京都南禅寺の近くに、琵琶湖疎水を引き込んだ東山別荘群がある。その庭の多くを手がけたのが、植治こと植木屋治兵衛、7代目小川治兵衛である。

彼が、弟子達に言い続けた。

「人格を磨け、人格以上の庭は出来ないのだから」と。

学生時代、ネラン塾で議論しあった畏友・鈴木博之氏の『庭師小川治兵衛とその時代』（2015年上梓・東京大学出版会）に詳しい。残念ながら、彼は、昨年68才で鬼籍に入る。

私は、前を向いて進むのが好きだ。振り返っても、自分磨きに益はない。分区の方々には、ご迷惑をかけたが、性懲りもなく前進のみを考えよう。ありがとう！第8分区の方々。



## 1年を振り返って

第9分区ガバナー補佐  
成田コスモポリタンRC 青木 貞雄

1 昨年9月の第1回ガバナー補佐(AG)会議で活動が始まったガバナー補佐の任期も、残り2ヶ月少々となりました。この間、私など足下にも及ばぬロータリーに関する深い見識、また、熱心な探求心を持ったAGの皆様と知合い、皆さんの取組姿勢に圧倒された一方で、各クラブの活動内容、考え方、抱える問題等が千差万別であることを知りました。

聞きなれぬDLPに基づく職責は、ガバナーを補佐するだけではなく、手足となることとの説明を宇佐見ガバナーより受けましたが、AGに任された区内6クラブ合同IMの企画・運営を除くと、ガバナーのお手伝いを何とか勤め上げたというのが実態です。しかし、分区の皆さんは、クラブ訪問、IM、会長・幹事会等を通じ、「原点回帰」を始めとする地区の方針等を十分理解し、ロータリーに関する研鑽に努めると共に、ガバナー公式訪問時の真摯なクラブ協議会、目標を分区全体で達成した会員純増6名、4クラブがロータリー・デー実施等々、本年度も活発で充実した活動を展開してくれました。

他方、私にとっては、崎山研修リーダーの指導により初めて本格的に目を通した手続き要覧でクラブ活動計画書の原点理解、並びにDLPとCLPの成り立ちの違いを含めたロータリーの歴史・変遷の習得等に加え、分区内は元より、地区等の仲間との親交の輪を広めることが出来、忙しい中にも、ロータリーについて考える時間を持てた有意義な20ヶ月間でした。初めて訪れた区内他クラブの例会を通じ、例会運営を含めたロータリー活動への取組み、そして、抱える問題等に大きな差異があることを知ると同時に、私の所属する成田CRCは、会員の数、卓話を始めとする例会の内容充実、活発な親睦活動等々、大変恵まれた環境にある反面、活動が内向きで外への発信が少ないことを実感しました。AGの経験を生かし、良い点の紹介を含めた所属クラブの対外活動強化等の面で、今後も貢献できればと考えています。多くの方から頂戴したご教示、ご協力に感謝申し上げます。



## 1年を振り返って

第10分区ガバナー補佐  
我孫子RC 松本 憲事

この一年を振り返りますと、ガバナー補佐としての役割や責務を果たす為には何をなすべきか自問自答する毎日でした。自分自身の未熟さを再認識したことは、私にとっての人間形成の上で“大きな財産”となりました。10分区5クラブの会員の皆様に2つのテーマを問いました。1つは「ロータリーの魅力とは」 2つめは「ロータリーの価値観とは？」ロータリークラブに魅力があれば退会者は減少し、新入会員が増加することになります。

ロータリーの価値は職業奉仕と親睦が根幹となります。社会奉仕と国際奉仕もいままで実行されてまいりました。現在、RIはリーダーシップ、多様性、高潔性も中核的価値観として位置づけております。会員お一人お一人が世界のロータリーの価値観と共有しあえるのか理解した上で納得できるか？このことは戦後70年の日本の平和が継続したことにおける価値観とは少しずれがあるのかもしれませんが。ロータリーの価値観についてガバナー補佐の役目を終えてもロータリークラブの皆さんと共に答えを見つけたいと考えております。最後に我が10分区5クラブの会長、幹事の皆様、更に会員の皆様にご協力を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。



## 1年を振り返って

第11分区ガバナー補佐  
習志野中央RC 庄司 昭

初めに、一年間ガバナー補佐として素晴らしい経験をさせて頂きましたことに感謝申し上げます。

当初、11分区内7クラブの順番とはいえ、自クラブ会員の皆様の推薦でガバナー補佐を引き受けることとなりましたが、私の様なロータリーについては知識不足で、若干の経験が有るだけでこの大役が務まるのか大変不安な心理状態に置かれておりました。

第1回のガバナー補佐会議ではいままで携わったことの無いDLPに基づく地区組織づくりから始まり、自分の勉強不足を認識させられました。

以後、ロータリー情報マニュアル、2013手続要覧等を判読、また、RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）に参加させて頂きました事は大きな収穫でした。

7月より分区7クラブの訪問では、クラブの皆様の歓迎と友情に感激いたしました。

12月に行われたIMでは「クラブを輝やかせよう」のテーマで会長エレクトが次年度のそれぞれの思いを発表されました。会員増強を計ることの大事さ、クラブ例会の充実、外部へはロータリー広報を積極的に行う、そしてロータリー精神を軸として、変革し創造して行くことが大切である。等々。多くのロータリアンの知己を得て学んだことは、ロータリーは人生の修業道場、人づくりの場であることを実感しました。

この一年間を通じて、宇佐見ガバナーの熱心なご指導と、地区役員、各分区ガバナー補佐の皆さん、また、RLIのDLの方々と親交ができましたことに感謝いたします。

終わりに、分区内のクラブ会長、幹事さんを始め会員の皆様にご支援を賜り心より感謝申し上げます。各クラブの益々のご隆盛を祈念いたします。



## 1年を振り返って

第12分区ガバナー補佐  
松戸中央RC 高崎 信昭

各クラブの活動は、RIのテーマ・地区の活動方針に沿ったものであることは、申し上げるまでもありませんが、私は特に今季活動方針として3点を加えさせていただきました。

- 1) 夫々のクラブには誕生の経緯や歴史・地域性・クラブが持つ特性（女性会員の有無）等々、これまでに培われてきた個性があります。従ってクラブの自主性・裁量権を最大限尊重する。
- 2) 親睦という盤石な基盤の上に、奉仕活動・委員会活動の成功が期待できる。従って、親睦のあり方と機会を再考する。
- 3) クラブ運営の優先順位を明確にし“最重要目標達成にクラブを挙げて全力投球”することをご提案しました。

クラブ会長初め会員の皆様方には、この趣旨を良くご理解いただきご協力頂いた結果、各分野で大きな成果が得られたと自負しています。

第一に、クラブ運営の基盤ともいえるべき“会員増強”で、素晴らしい成果をあげたことです。松戸中央クラブの純増8名（3月末現在）は、2790地区で断トツのトップであり、松戸西クラブ5名、松戸クラブ4名と続きました。特筆されるべき実績です。

第二に、RI会長が提唱された「ロータリー・デー」に呼応して、松戸西クラブが“危険ドラッグ撲滅運動”を、松戸東クラブが“盲導犬支援プロジェクト”を大々的に開催しました。地域住民に、ロータリークラブの活動を知らしめた功績は大きく、地元メディアにも大きく取り上げられました。

第三に、画期的なIMを開催できたことでしょう。世界200ヶ国・地域に34,000クラブを擁し、120万会員で構成されるロータリークラブの最高指導者であった田中作治元RI会長をお迎えしての開催は、ロータリアンとしての自覚・誇り・使命感を呼び覚まし、大きな感動を与えました。

紙面の制限もあり、充分なご報告になりませんが、この一年間会長はじめ会員の皆様方に賜ったご厚情、ご協力に感謝申し上げてご挨拶に代えさせていただきます。



## 1年を振り返って

第13分区ガバナー補佐  
野田セントラルRC 池田 八倉

平成25年9月の第1回ガバナー補佐会議に出席するまで大変悩みました。自分にこの大役がはたして務まるであろうか、また分区の各クラブに対して十分な貢献が可能であろうか等考えたものでした。

その内持ち前の能天気になりました。この1年間はロータリーを勉強し直す良いチャンスと捉え、地区内、分区内クラブの実情や本音を聞く機会も多くなり、他クラブを理解する年にしたいと考えるようになりました。それには各種セミナーには積極的に参加すること、分区内クラブに可能な限り訪問すること、それぞれのクラブの方々との意見交換を多くすること等を心掛けました。幸い各クラブの方々にはご理解をいただきました。ありがたいことでした。私にとって幸せと思ったことはクラブを訪問して多くの会員の方々にお会いできたことでした。それぞれのクラブとも暖かく迎えていただきクラブ訪問が本当に楽しくなりました。公式訪問も含めて約32回の訪問になろうかと思えます。

年間の行事として、合同公式訪問、IM、地区大会そして隔月の会長幹事会を開催もしくは出席をしました。今回の公式訪問は野田市、流山市の2回合同訪問としました。宇佐見ガバナーからはロータリー全般と原点回帰、職業奉仕等についての卓話をいただき、久しぶりの合同公式訪問で緊張しましたが、全てのクラブの会長、幹事、会員の方々の協力が無事終了しました。IM開催にあたりましては杉木PGのご指導により「誰のためにロータリークラブはあるのか」のテーマの下に次年度会長エレクトの方々へ提言発表をいただきました。その後杉木PGからご講評をいただき懇親会となりました。私は地区大会が地区のお祭りならIMは分区のお祭りと考えております。ロータリーをもっと楽しもう。

他クラブとの交流で感じたことはもっとお互いのクラブ同士が交流を深め、時には議論もしながら、同じテーマで活動することができれば、より親睦を深めロータリーを勧めることができるのではないかとのお思いでした。

結びにこの1年間皆様のご支援ご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



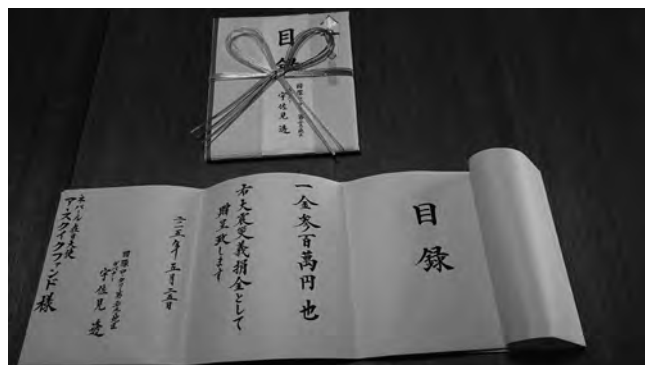
# ネパール国大震災 義捐金贈呈報告

2015年4月25日午前11時56分。ネパールの首都カトマンズで起きた大地震は8,000人を越える死者を出し170万人の人々が被災されております。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災されました方々へお見舞いを申し上げます。

一刻も早い支援が効果的であると考え、諮問委員会の了解を得たうえで平成27年5月25日午前11:00都内目黒区の在日本ネパール国大使館を訪れ特命全権大使マダンクマール・バッタライ大使に直接目録をお渡ししました。地区では今回のような天災等による突発的災害が起こった場合を想定し、緊急災害特別基金を積み立てております。過去の例から、会員一人当たり1,000円見当で地区災害積み立て基金より、一金三百萬円を義捐金としてお渡ししました。大使からは、現在でも毎日余震が続き、母国の建物は地震を全く想定しておらない上に震源の深さが浅いため、殆どどの建物が壊れているが、寒気と雨季の間なのですぐにインフラの復旧を目指したいとの事です。私達の支援に対し御礼を述べられ、会員皆様へ感謝申し上げますと話されました。

当日は2770地区の濱野ガバナー、ロータリー日本事務局小林局長と中井室長も同行されそれぞれ義捐金をお渡ししておられました。



## 文庫通信 (332号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 必読のロータリー情報

- ◎「信天翁 (AHODORI)よちよち歩く」 齊木亀治郎 姫路R.C. 1970 209p
- ◎「ロータリーの初心をたずねて」 小堀憲助 東京千種会 1971 54p
- ◎「ロータリーにおける思考と行動」 菅野多利雄 1972 128p
- ◎「おゝロータリアン (職業奉仕とは)」 金沢北R.C. 1975 84p
- ◎「ロータリーの本」 森 光繁 今治R.C. 1971 126p
- ◎「ようこそロータリーへ・新装」 佐藤千壽 東京江北R.C. 2000 87p
- ◎「純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学」 小堀憲助 千種会 2009 79p

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「ロータリーの森を歩く」 佐古亮尊 大村北R.C. 2005 345p

[申込先：長崎新聞社出版室 FAX(095)848-4856]

- ◎「ロータリーの心と原点」 廣畑富雄 2014 171p

[申込先：(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

# 【地区大会記念 野球大会】

フェローシップ委員会  
委員長 宮川 忠士  
(千葉西RC)

『地区大会記念野球大会』は宇佐見ガバナーがロータリアンの健康と親睦を目的とし、「ロータリーデー」として開催されました。現在地区内には8クラブが加盟する地区野球リーグがありますが、今回は全てのクラブから参加を募り【地区大会記念ゴルフ大会】に肩を並べる【地区大会記念野球大会】として開催致しました。各分区ガバナー補佐の協力を得て、分区内クラブ合同でチームが結成され試合を行いました。

目的：野球を通じて地区内のロータリアンが『健康と親睦』を合言葉に会員相互の健全なる心身を鍛錬し社会に寄与する。

日時：2015年4月23日（木）

会場：QVCマリンフィールド

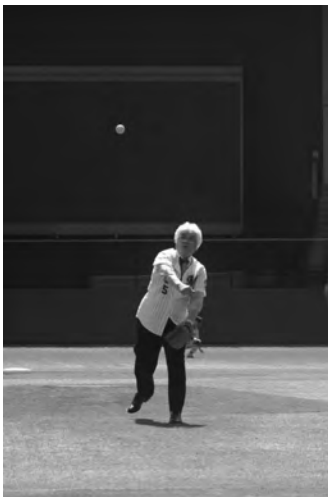
参加チーム：第1試合（第9分区）【富里・成田コスモポリタン】対（第11分区）【習志野中央】

第2試合（第12分区）【松戸西・松戸北】対（第11分区）【習志野中央】

第3試合（第3分区A）【千葉幕張・千葉若潮】対（第12分区）【松戸・松戸東】

第4試合（第1分区）【浦安・市川シビック・八千代中央・千葉緑】対（第3分区A）【千葉・千葉西】

参加：16クラブ 選手95名、家族及び応援関係者65名 計160名



千葉若潮RCの松原正吾選手の選手宣誓「老体に鞭打って筋肉痛にも耐えロータリアン精神で頑張る」に続き宇佐見ガバナー対青木ガバナーノミニーマッチの始球式でスタート。天候に恵まれ、選手たちは元気一杯マリンフィールドのグラウンドを駆け巡り、珍プレー続出。電光掲示板に自らの名前が光り、ウグイス嬢のアナウンスに誘導され颯爽とバッターボックスに向かう元高校球児？。どの試合も熱戦が続きました。試合ごと



に宇佐見ガバナーから送られた豪華な【優秀選手】【敢闘賞】【ファインプレー賞】そして



【珍プレー賞】などの賞品を手嬉しそうに写真におさまっている姿が少年のような壮年でした。ロータリー活動の一つとしてこのような大会を開催し分区やクラブを超えて親睦の輪が広がりました。

# ガバナーノミニー(2017-18年度ガバナー)の確定宣言

国際ロータリー第2790地区  
ガバナー 宇佐見 透



ガバナーは、国際ロータリー（R I）細則第13条13.020.4.項の規定により、2014年7月16日付けで地区内クラブに対して、ガバナー候補者の推薦を9月16日までに提出するよう要請しました。この結果、同日までにクラブからの推薦はありませんでした。

ガバナーは、指名委員会委員長から2015年4月24日指名委員会を開催し、柏ロータリークラブ所属の寺嶋哲生君をガバナーノミニー（2017-18年度ガバナー）に選出した旨を、委員会閉会后24時間以内である同日中に、R I細則第13条 13.020.6.項の規定により報告を受けました。

ガバナーは、R I細則第13条13.20.8項に規定する対抗候補者がいないため、指名委員会を選んだ寺嶋哲生君をガバナーノミニーと宣言します。

同君は、本日よりガバナーノミニー・デジグネートという肩書きを担います。

2015年4月24日

## 経 歴

氏 名 寺 嶋 哲 生 (てらじま てつお)  
生年月日 1959年(昭和34年)9月14日生 (55歳)  
職業分類 教育文化協会(公益社団法人 摘水軒記念文化振興財団)  
所属クラブ 柏ロータリークラブ  
最終学歴 日本大学大学院博士課程修了(口腔組織学専攻 歯学博士 日本大学講師)  
認 証 ポール・ハリス・フェロー  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
ベネファクター  
米山功労者

## ロータリー歴

1989年8月 柏ロータリークラブ入会  
1997-98年度 同クラブ幹事  
2004-05年度 同クラブ会長

## 職歴(現職)

公益財団法人摘水軒記念文化振興財団 理事長  
寺嶋地所株式会社 代表取締役  
株式会社スカイプラザ柏 代表取締役  
株式会社柏駅前ビル開発 取締役  
雪和食品株式会社 取締役  
岡田医材株式会社 取締役

## 公職歴(現職)

柏商工会議所 会頭  
第五次柏市総合計画審議会 会長  
東日本大震災復興を支援する柏市民の会 会長  
国際浮世絵学会 常任理事  
柏レイソル後援会 会長

## 会員の退会防止とゾーンの戦略計画

RI第3ゾーン ロータリーコーディネーター

安満良明 (加治木RC)

今年度も後わずかとなりました。今一番大事なのは、会員の退会防止です。例年年度末の6月にたくさんの方の退会者がおられます。クラブをあげて退会防止に取り組んでください。

さて、去る4月18日に次年度のための第3ゾーンリーダー会議を福岡で開催し、2015年7月11日(土)に福岡にて第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催することが話し合われました。次年度からは、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターの共催で開催されます。今回初めて三つのコーディネーターが共催することになり、ロータリー戦略計画の三つのテーマ「クラブのサポートと教化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「公共イメージと認知度の向上」が揃って学び話し合える機会となりました。クラブがクラブのための戦略計画を立案し推進していき、それを基にガバナーと地区の戦略委員会が地区の戦略計画を立案推進していただくことが大切だと思います。永年の会員減少の中に、やっと歯止めがかかり会員増加の兆しが見えてきた中、クラブがしっかりと、クラブの未来像を見据えて戦略計画をたて推進していくことが、各々のロータリークラブの基盤を確たるものにすることだと思います。

## クラブで取り組む公共イメージ向上 - 次年度に向けた目標

RI第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター

岩永信昭 (長崎北東RC)

公共イメージ向上はここ数年益々強調されている戦略計画優先項目の一つです。ラビンドランRI会長エレクトは以下に対する取り組みをクラブに強く奨励されています。

- 1) **地元メディアによる報道の推進** - メディア報道を担当する会員を指名しクラブの活動等取材してもらおう働きかける。
- 2) **「ボイスとビジュアルアイデンティティのガイド」の導入促進** - RIウェブサイト内ブランドリソースセンターからダウンロードできるこのガイド(写真)を利用しクラブのウェブサイトや出版物に導入しロータリークラブ・セントラルへ報告する。
- 3) **デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進**

これらは次年度RI会長賞の受賞条件にも含まれており、各クラブで積極的に取り組まれて下さい。地区広報委員会そしてコーディネーターが皆様方のサポートを喜んでさせていただきます。ご理解の程何卒宜しくお願い申し上げます。



～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 — 残り2カ月をよろしくお願いします —
- ・ネパール大地震について
- ・博士号取得状況 — ご報告お待ちしております —
- ・美化活動を通じて日台の懸け橋に — 台湾米山学友会 —
- ・2015年度帰国学友歓迎会を開催 — 韓国米山学友会 —

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。  
[http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight182\\_pdf.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight182_pdf.pdf)

《今月のピックアップ記事》

ネパール大地震について

4月25日にネパールで大地震が発生し、甚大な被害が出ていることに心よりお見舞い申し上げます。

米山記念奨学会では、これまでに支援したネパール出身の奨学生・学友211人のうち、メールアドレスをもつ185人にお見舞いメールを出しました。現在、安否確認ができた学友は70人ほどで、「実家の自宅が全壊した」「母が亡くなった」「自宅がなくなり、避難所にいる」などの返信が届いています。

ネパール出身の学友を中心に、個人や学友会、ロータリー地区単位での支援活動も広がりつつあります。米山学友のジギャン・クマル・タバさんとエソダ・バスネットさんご夫妻は、地震発生直後から在日ネパール人たちと協力し、まずは必要なところへ緊急支援をしたいと奔走中です。日本ネパール協会理事をつとめるタバさんは、5月7日から寝袋や女性用品、軍手、マスクなど緊急物資をネパールに運び、被害の大きい村々をまわりながら、瓦礫撤去のボランティア、信頼できる現地団体への支援を行いつつ、現地情報を収集しています。

ネパール出身の米山学友ビカス・ラムサルさんは、足利工業大学で仲間とともに日々募金を呼び掛けています。

米山学友が中心となって設立した東京米山友愛RCでも、ネパール支援のための義援金を広く呼びかけています。今年度クラブ会長のギリ・ラムさんはネパール出身で、現地との連携チームを作り、山間部で支援の手が届かないエリアを中心に支援していきたいとのこと。

当会も義援金窓口を設置しています（詳細は下記HPをご覧ください）。

[http://www.rotary-yoneyama.or.jp/blog/news/2015/detail\\_8207.html](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/blog/news/2015/detail_8207.html)

6月22日着金分までを第1弾としてネパール米山学友会へ送金します。

同学友会では現在、スレス会長を中心に水の確保や小学校再建など用途を検討中です。決定次第ご報告いたします。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 メジャードナー (財団)



池田 等  
(八千代RC)



飯生高一郎  
(八千代RC)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



神崎 誠  
(成田RC)  
6回目



上代 修二  
(八千代RC)  
6回目



遠藤 章雄  
(八千代RC)  
5回目



栗原 稔  
(八千代RC)  
4回目



橋本 幹雄  
(八千代RC)  
2回目



葉山 哲夫  
(八千代RC)  
1回目



(ポール・ハリス・フェロー)



宇田川博司  
(柏西RC)



宮城 和彦  
(柏西RC)



松本隆一郎  
(柏西RC)

米山功労者



池田 等  
(八千代RC)  
11回目



増田 裕  
(千葉中央RC)  
10回目



遠藤 章雄  
(八千代RC)  
6回目



平野 一隆  
(大原RC)  
4回目



松戸 英雄  
(八千代RC)  
4回目



植村 正徳  
(八千代RC)  
2回目



長原 正夫  
(成田RC)  
1回目

新ロータリアン (敬称略)



細田はづき  
(佐原香取RC)  
弁護士  
2014年12月1日  
入会



刈込 八束  
(富津中央RC)  
旅館業  
2015年1月8日  
入会



鈴木 勉  
(富津中央RC)  
金融機関  
2015年2月1日  
入会



小澤 直之  
(松戸北RC)  
電気通信工事  
2015年3月3日  
入会



柳 孝実  
(松戸北RC)  
生命保険・損害保険  
2015年3月3日  
入会



劉 亜斌  
(千葉南RC)  
医療サービス業  
2015年3月27日  
入会



近藤 治久  
(白井RC)  
行政書士  
2015年4月1日  
入会



笠原 敏郎  
(白井RC)  
司法書士  
2015年4月1日  
入会



畔高 弘樹  
(柏RC)  
事務用品・OA機器販売  
2015年4月1日  
入会



中島 理枝  
(千葉港RC)  
飲食業  
2015年4月2日  
入会



森川 忠  
(成田空港南RC)  
燃料販売  
2015年4月2日  
入会



東城 英知  
(成田空港南RC)  
印刷業  
2015年4月2日  
入会



金子 義則  
(船橋RC)  
保険代理業  
2015年4月7日  
入会



吉川 誠一  
(千葉北RC)  
経営コンサルタント  
2015年4月8日  
入会



甲斐 康博  
(千葉中央RC)  
証券業  
2015年4月16日  
入会



瀧川 誠  
(千葉南RC)  
警備業  
2015年4月17日  
入会



飯島 清人  
(成田コスモポリタンRC)  
都市ホテル  
2015年4月22日  
入会



鈴木 紳悦  
(成田コスモポリタンRC)  
警備業  
2015年4月22日  
入会



北田 浩一  
(東金RC)  
商工会議所  
2015年4月28日  
入会



松丸 喜樹  
(千葉中央RC)  
葬儀業  
2015年5月7日  
入会



内山 景太  
(千葉RC)  
ホテル  
2015年5月11日  
入会



林 直人  
(銚子東RC)  
商業銀行  
2015年5月12日  
入会



中島 清幸  
(木更津東RC)  
鉄鋼業  
2015年5月13日  
入会



山本 孝広  
(習志野RC)  
地方銀行  
2015年5月13日  
入会


## R I 第2790地区（千葉）2015年4月出席・会員数報告

分区分	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区分	市川	100.00	5	39	0	39	0	0
	市川東	100.00	3	41	0	41	0	0
	市川南	72.00	4	17	2	17	2	0
	浦安	89.40	4	33	0	38	1	5
	市川シビック	82.19	4	34	0	36	0	2
	浦安ベイ	62.50	4	15	0	16	0	1
第2分区分	船橋	93.33	3	23	0	26	0	3
	船橋西	90.71	4	41	5	36	5	△5
	鎌ヶ谷	88.37	5	26	2	29	2	3
	船橋東	85.63	3	28	2	29	1	1
	船橋南	73.21	4	20	4	17	4	△3
	船橋みなと	84.28	4	20	5	20	5	0
第3分区分A	千葉	89.32	4	66	1	70	2	4
	新千葉	80.10	4	43	0	49	0	6
	千葉西	77.32	3	63	5	62	4	△1
	千葉中央	84.74	4	34	0	35	0	1
	千葉幕張	87.67	4	37	3	38	3	1
	千葉東	73.45	3	31	4	31	3	0
第3分区分B	千葉南	74.10	4	49	6	53	7	4
	市原	73.03	4	42	2	44	2	2
	千葉港	63.64	4	26	1	24	2	△2
	市原中央	85.00	4	50	2	47	2	△3
	千葉北	78.41	4	23	2	23	1	0
	千葉緑	77.56	4	26	3	27	3	1
第4分区分	木更津	80.60	4	34	3	29	3	△5
	上総	74.45	5	18	0	18	0	0
	富津	90.63	4	14	0	16	0	2
	富津中央	80.60	5	24	1	27	1	3
	木更津東	88.11	4	40	0	41	0	1
	君津	96.34	4	39	1	44	1	5
	袖ヶ浦	89.13	4	21	3	23	3	2
	富津シティ	70.00	4	14	1	15	1	1
第5分区分	館山	91.65	3	59	3	57	3	△2
	鴨川	93.29	4	35	7	34	7	△1
	勝浦	98.53	4	36	5	34	4	△2
	千倉	80.00	3	10	1	10	2	0
	鋸南	92.90	4	14	1	14	1	0
	館山ベイ	77.60	4	20	0	20	0	0
第6分区分	茂原	93.96	4	57	3	63	3	6
	東金	100.00	3	21	1	23	1	2
	大原	70.00	4	19	3	18	2	△1

分区分	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区分	大多喜	83.32	4	7	1	6	1	△1
	成田空港南	88.24	4	35	0	37	0	2
	茂原東	91.66	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	91.67	4	14	2	13	2	△1
	大網	83.33	4	29	1	30	1	1
	東金ビュー	59.80	4	25	1	22	1	△3
第7分区分	銚子	84.61	4	42	4	44	4	2
	旭	73.25	4	43	2	43	2	0
	八日市場	86.20	4	40	2	41	2	1
第8分区分	銚子東	73.10	4	39	2	39	2	0
	佐原	83.36	4	44	0	47	0	3
	多古	73.08	4	14	0	14	0	0
第9分区分	小見川	88.64	4	21	0	22	0	1
	佐原香取	74.30	5	27	0	28	1	1
	成田	66.12	4	66	1	63	0	△3
第10分区分	八街	80.46	4	30	1	32	1	2
	印西	90.29	4	24	0	24	0	0
	白井	72.75	4	17	0	22	0	5
	富里	71.00	4	27	0	29	0	2
	成田コスモポリタン	77.40	4	70	0	69	0	△1
	柏	76.20	4	49	9	51	9	2
第11分区分	我孫子	80.00	4	26	1	24	1	△2
	柏西	83.33	4	59	4	60	5	1
	柏東	90.42	5	28	3	30	3	2
	柏南	81.00	4	32	5	34	5	2
	習志野	73.52	3	28	1	27	1	△1
	八千代	83.00	3	46	0	46	0	0
第12分区分	佐倉	66.67	4	17	2	18	2	1
	八千代中央	89.20	3	27	0	28	1	1
	四街道	79.66	4	25	3	23	2	△2
	習志野中央	78.43	4	48	5	51	6	3
	佐倉中央	64.47	4	18	3	19	4	1
	松戸	83.64	4	56	0	59	0	3
第13分区分	松戸東	92.06	4	48	0	47	0	△1
	松戸北	78.42	4	37	0	38	0	1
	松戸中央	92.82	5	31	1	39	6	8
	松戸西	80.83	4	24	0	30	0	6
第13分区分	野田	84.75	4	55	5	59	7	4
	流山	81.25	4	16	4	16	4	0
	野田東	86.29	4	31	0	31	0	0
	流山中央	69.40	4	22	0	23	0	1
野田セントラル	75.36	3	24	0	24	0	0	

クラブ数 84RC	2014年7月1日	地区会員数	2,714人	当月平均出席率	82.60%
	2015年4月末日	地区会員数	2,788人	増減	+74
	2014年7月1日	地区女性会員数	149人	女性会員増減	+9
	2015年4月末日	地区女性会員数	158人		

### 物故会員（敬称略）



**澤村 博史（千葉RC）**  
 逝去日：2015年5月14日（享年61歳）  
 入会日：2011年7月4日  
 ロータリー歴  
 2014-15 理事／青少年奉仕委員長

6月のロータリーレート

# 118円

## 第2790地区内 クラブ バナーの由来

### 千葉緑ロータリークラブ

緑は環境の色。21世紀は日本が世界に貢献する存在となるでしょう。

千葉緑ロータリークラブは、その21世紀に向かって希望に満ちたスタートをします。

バナーのGは、グリーンの頭文字ですが、同時にGLOBEをも意味します。ロータリーの理想である、平和でクリーンな世界をめざして、社会に貢献してまいります。



### 千葉北ロータリークラブ

北極星は、万年光り輝き天空の最高位に位置し、天子、皇居の意もあり『北』の原点でもある。

古来より方位の指標とされ正しい導きと勇気は、そのシンボルでもあり原理である。

千葉北ロータリークラブは、この原理原則のもと『奉仕の理想』を實踐すべく命名し、また千葉市のシンボルバード“こあじさし”をデザインに取り入れバナーとした。



### 大網ロータリークラブ

当クラブのバナーはクラブ創立後、バナー委員会で作成されたものです。

全体の黄色地は千葉県の花である菜の花の色にし、青地は九十九里の荒波を表現し、中央は大網白里町の花「コスモス」であしらいました。



### 千葉若潮ロータリークラブ

我々の所属する千葉県は海洋に恵まれ、常に潮に関係が深く、黒潮が生活に直結している所です。バナー右上からの群青色の流れは潮の周期の入れ替わりに発生するという若潮を表しています。バナー中央のC,Wは、千葉若潮を表し、深紅の紋章はCROWNを表しており房総半島をもイメージしています。



### 浦安ベイロータリークラブ

浦安ベイRCのバナーは東京湾(海)を表現するために浜辺と海を描いております。

海をブルー、空をスカイブルー、陸をピンク系で、そして砂浜を白と薄いピンクであらわしグリーンで60年前の浦安で潮干狩りが出来た遠浅の海をあらわし、そして遠方には帆船とカモメを描いて海を表現しております。



### 東金ビューロータリークラブ

「VIEW」は、視野、展望等色々な意味を含んでおります。

地域の現在を見渡し、未来を見据えて行きたいという願いがこめられています。

このバナーは、山武郡市の3つの顔で構成いたしました。

桜の満開が美しい山の手、雄大な太平洋が波をうつ海浜、そしてこれから益々発展をする市街地です。この美しい地域を展望(VIEW)し、そして未来へ私達の想いを込めて図案化いたしました。



### 行事予定 (6月)

13日(出)	18:00~20:00	フェアウェルパーティー	ホテル ザ・マンハッタン
14日(日)	16:30	青少年認証書授与式&歓送会	東天紅
17日(水)	13:00 受付	RLI 卒後コース	千葉市民会館
28日(木)	11:00~13:00	新旧ガバナー事務所引継式	ホテル ザ・マンハッタン